

かぞく  
2017 家族でかくにん!

# わが家のぼうさい コンテスト

入賞作品集



そな かぞく はな あ  
もしものときに備え、家族で話し合おう!

主催／ふくいの水防災を考える会 福井新聞社 NHK福井放送局 後援／福井県教育委員会

(国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)

# もくじ

## 2 入賞者一覧

## 3 審査委員名列

### 審査講評

審査委員長  
福井工業高等専門学校  
環境都市工学科教授 辻子 裕二氏

## 5 最優秀賞 作品紹介

福井市東郷小学校 6年 原田 侑奈さん

## 7 優秀賞 作品紹介

坂井市春江小学校 5年 下園 愛心さん

## 8 優秀賞 作品紹介

福井市豊小学校 6年 小林 陽さん

## 9 福井新聞社長賞 作品紹介

福井市豊小学校 5年 木原 美樹さん

## 10 NHK福井放送局長賞 作品紹介

坂井市春江小学校 5年 川治 天音さん

## 11 入選作品の紹介

## 16 奨励賞作品の紹介

# 2017 家族でかくにん! わが家のぼうさいコンテスト 入賞者一覧



原田 侑奈さん  
福井市東郷小学校 6年



下園 愛心さん  
坂井市春江小学校 5年

小林 陽さん  
福井市豊小学校 6年



木原 美樹さん  
福井市豊小学校 5年



川治 天音さん  
坂井市春江小学校 5年



笈田 千歳さん  
福井市社北小学校 6年

平木 里奈さん  
福井市豊小学校 5年

野村 星菜さん  
福井市社西小学校 6年

島崎 玲奈さん  
坂井市春江小学校 5年

坪田 悠士さん  
坂井市春江小学校 5年

鈴木 琉威斗さん  
坂井市春江小学校 5年

加納 朋夏さん  
坂井市春江小学校 5年

三寺 柚月さん  
坂井市春江小学校 5年

垣東 嵩之さん  
小浜市国富小学校 5年

佐竹 優佳さん  
小浜市国富小学校 5年



内田 佑奈さん  
福井市社北小 6年

開発 資さん  
福井市社北小学校 6年

中山 翔太さん  
福井市社北小 6年

吉岡 乙葉さん  
福井市社北小学校 5年

山下 樹さん  
福井市森田小学校 6年

神原 凜さん  
福井市旭小学校 6年

福島 瑤周さん  
鯖江市片上小学校 5年

直井 陽莉さん  
鯖江市片上小学校 5年

福田 しず来さん  
鯖江市片上小学校 4年

吉田 光輝さん  
坂井市春江小学校 5年

南部 茉央さん  
坂井市春江小学校 5年

久保 奈那英さん  
坂井市春江小学校 5年

濱野 嘉南さん  
坂井市春江小学校 5年

山田 心音さん  
坂井市春江小学校 5年

嶋田 朔弥さん  
坂井市春江小学校 5年

五十嵐 愛莉さん  
坂井市春江小学校 5年

出店 愛琉さん  
坂井市春江小学校 5年

山畑 秀介さん  
坂井市木部小学校 5年

出口 颯希さん  
小浜市国富小学校 5年

三宅 佑奈さん  
若狭町三方小学校 6年



## 審査委員名列

審査委員長	辻子 裕二氏	福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授
審査委員	中村 圭吾氏	国土交通省近畿地方整備局 福井河川国道事務所長
	内藤 宏人氏	福井地方気象台長
	齊藤 重人氏	福井県土木部技幹
	瀬戸 和行氏	坂井市建設部長
	山本 道隆氏	福井新聞社常務取締役営業局長
	大門 博也氏	NHK福井放送局長



## 審査講評



〈審査委員長〉 辻子 裕二氏 福井工業高等専門学校 環境都市工学科教授

今年で第4回目を数える「わが家のぼうさいコンテスト」応募総数は179点でした。昨年度より少し応募数は減りましたが、年々質の高い作品が増えているように思えます。まずは、応募されました児童及びそのご家族、ご指導にあられた関係者の皆様の防災に対する熱い思いに敬意を表しますとともに、お時間をかけて出品いただきましたことに厚くお礼を申し上げます。

今年の入賞総数は全部で35点であり、入賞率を計算すれば約19.6%となります。惜しくも入賞を逃した作品の中にも、多くのすばらしい作品があったことを記しておきます。

昨年度もお伝えしましたが、防災に関するコンテストで最も重視したいのは、その作成プロセスです。現地を調査、考察し、話し合ったプロセス（時間）そのものが財産となります。その財産を一枚の紙に記すプロセスが加わることで、持続性・拡張性という新しい価値が生まれるのです。今回入賞した多くの作品は、実際に現地まで足を運び、そこで得られた情報を整理し、地図に落とし込んだものでした。「わが家」という視点で調査し、家族で考察を加え、作られたマップであると思われます。しかし、よく見れば、そのマップは「わが家」という枠を超え、ご近所はもとより比較的広範囲の地域住民の方にとっても有

益となる情報が含まれていることに気がきます。大げさに言えば、「わが家」発信の地域安全（共助）情報となっているわけです。この事実を踏まえれば、応募作品を自宅に留めるのではなく、ご近所で回覧されることで広がりが見られることが期待されます。さらに範囲を広げ、公民館・コミュニティセンター等で閲覧できる機会を設けるのも良いかと思えます。作品を見た人が「わが家」でも作らなくては」という気持ちになってくれれば、地域防災力は益々向上することでしょう。このようなかたちで、当コンテストの効果が波及していくことを期待します。

今年作品のもう一つの特徴として、構図が整っている点を挙げる事ができます。色使いも洗練されていますし、全体のバランスが良い作品が多かったように思えます。加えて、上位作品はもとより、どの作品も実利用場面が手に取るように想像できるものでした。一枚の紙でありながらも、あたかも動画を見るように情報が入ってくる作品を目の当たりにし、伝える力の重要性を再確認した次第です。この他、防災グッズの作り方をまとめた作品も多く見られました。地震や洪水といったハザードに留まらず、ハザードを明確に定義し、それに対して「わが家ではこうする!」という決意を表明している作品も多く見られました。このコンテストを機に、その決意を周りにも伝えていただき、益々防災の輪を広げていただきたいと思います。

2017 家族でかくにん!

# わが家のぼうさいコンテスト

## 入賞作品集



表彰式で辻子委員長（右）から賞状を手渡される最優秀賞の原田侑奈さん  
＝10月9日、福井市の福井新聞社・風の森ホール



表彰式でインタビューを受ける受賞者



表彰式会場で行われた、入賞作品展



県砂防防災課の防災教室



福井地方気象台のコーナーで、竜巻の仕組みを実験する児童たち









坂井市春江小学校 5年  
下園 愛心さん

🔍 講評 (審査委員長)

「落ち着いた行動が取れるように日ごろから心がまえをもちましよう」と書かれたフレームの中で、家庭でのチェックポイントが具体的に整理されています。すべきことが明確ですので、家族以外でも、このマップを見た人が自分の地域を顧みるきっかけを与えることにつながるのではと感じます。手づくり感あふれるタッチでマップが描かれ、ある意味緊張感を伝える効果が増しており、防災マップらしい作品と言えるでしょう。



📝 受賞者コメント



私は、この防災マップ作りを通して、初めて家族とひなん場所まで歩いたり、家でできる防災対さくや災害が起きた時にどんな行動をとるべきかを話し合いました。

作り終わった直後に福井に大きな台風が来ました。私は以前よりも防災に対する意識が高まっていると感じました。自転車や外に置いてある物が風でとばないように備えることも防災につながる事が分かりました。風にとばされてまどガラスにあたってしまったら、とてもきげんです。

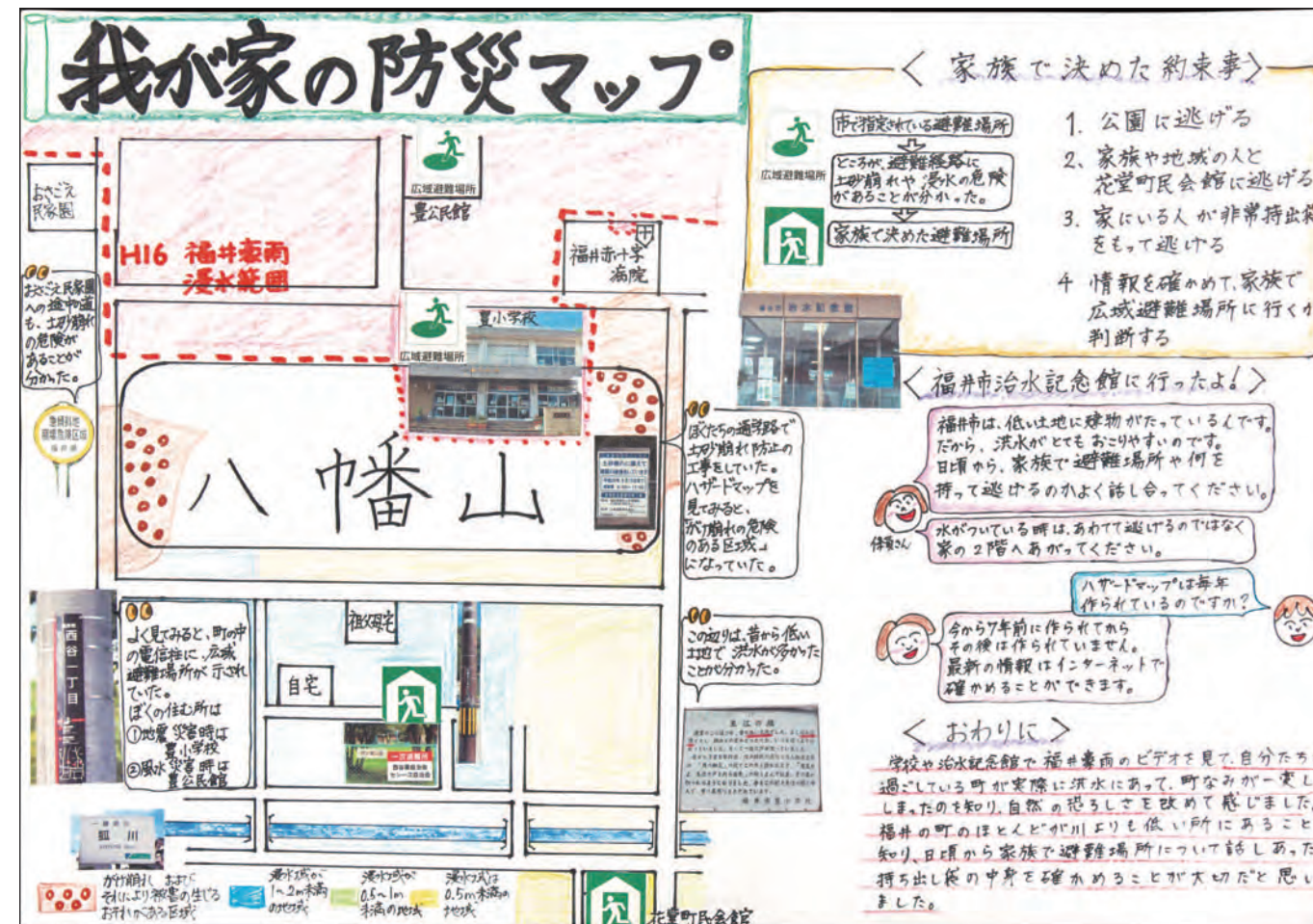
幸いにも、ひなんする事はありませんでしたが、雨風がひどく夜道はさらにこわく、危険がたくさんあると感じました。特にお年よりの人や病気の人、体の不自由な人はなおさらです。いざという時に、家族はもちろん、近所の人でも協力合せて安全、確実に避難できるように地域の防災訓練に参加していきたいと思ひます。



福井市豊小学校 6年  
小林 陽さん

🔍 講評 (審査委員長)

全体的なバランスが良く、文字も見やすく整理されており、丁寧につくられた作品です。指定されている避難場所を地図に落とし込んだ結果、「わが家」の場合は別の避難所が適していると指摘しています。「わが家」の視点で時間をかけて調査し、考察して見出した成果です。この作品を見て「わが家のマップも見直さなければ」と、地域の方々に気付きを与える効果も期待されます。



📝 受賞者コメント



防災マップを作るために一番工夫した点は、福井市治水記念館に行って、ハザードマップや福井豪雨のビデオを見たことです。福井豪雨の時、ぼくの家は被害を受けませんでした。しかし、同じ豊地区でも、山ひとつ越えただけでたくさんの家が水に浸かり大きな被害を受けたそうです。ハザードマップをよく見ると、ぼくの家は避難場所が当時の浸水地域になっていることが分かりました。実際に避難経路を調べてみると、土砂崩れの危険地域を通らないと避難できない事も分かりました。

福井市街地の大部分は、河川より低い地域にあるそうです。洪水の危険性が高い地域に住んでいるぼくたちは、日ごろからどこに非難すると安全か家族で話し合うことが大切だと分かりました。そして、緊急事態に備えて持ち出し袋を定期的に点検し、具体的にどのような行動をするか決めておきたいです。防災マップを作ることで、自助の大切さが分かりました。





福井新聞  
社長賞

福井市豊小学校 5年  
木原 美樹さん

講評 (審査委員長)

「まるで福井豪雨」「県産品で防災グッズ」といった、誰もがひきつけられる力のあるコピーを用いて、防災マップを見る動機を与える強い力を感じる作品です。内容も緻密であり、「雨水タンクがあるよ」といった貴重な情報が充実しています。「わが家」独自の洪水対策も示されており、どの家庭でも参考となるものと思われま。 「助け合いの気持ちをわすれない」で締めくくる点も評価されます。

受賞者コメント



私が、この防災マップで工夫した点は、あぶない場所や土地が高い場所などをマークで表現したことです。実際にみのり公民館に行って話を聞いたり、公しゅう電話の位置を調べたりしました。調べてみて分かったことは、私のおばあちゃんの家は土地が高いということです。また、私がまだ生まれていないころに豊地区でこうずいがあったということを母におしえてもらいました。そのこうずいがあった時、私のおばあちゃんのこしの高さまで水が流れてきたそうです。もし水害がおきたら、土地の高い場所にひなんしたいと思いました。

苦労した点は、画用紙にこまかく、だれでもわかるようなポスターにまとめることです。とくに、公民館にある雨水を再利用するポンプを絵で表すところが苦労しました。防災マップを作って考えたことは、もし災害がおきたときに一人でも多くのひとがひなんできるように、そなえておきたいと思いました。



NHK福井放送  
局長賞

坂井市春江小学校 5年  
川治 天音さん

講評 (審査委員長)

構成がしっかりしており、たいへん見やすい作品になっています。色使いもやさしく、その中で危険なことについては朱書きで明確に指摘しています。調査が具体的に実施されており、ご家族一丸となって防災に取り組んだ姿勢を読み取ることができます。また、家族の連絡先や約束事を書いた「連絡カード」の紹介があり、このようなカードを各家族が用意することの効用を説くことで、共助が生まれる点も評価されます。

受賞者コメント



私は今まで、大きな災害にあったことがありません。テレビのニュースで、地しんで家がこわれたり、台風で家の中に水が入ってひなんしている様子を見て、とてもこわいと思いました。もし災害が起きたら、私はちゃんとひなんできるだろうか、と心配になりました。町内のひなん訓練に毎年家族で参加していますが、いつも家族と一緒になので安心してました。でも、家族とはなれたところで災害にあっても、自分の命は自分で守って元気に家族と会いたいと思い、防災マップを作りました。

町内で危ない場所がないか、家族と一緒に歩いて調べたり、どこにひなんするとよいかなど市役所や公民館に話を聞きに行ったことが大変でした。でも、聞いたことをマップにまとめているうちに、本当に災害が起きた時どうしたら良いか、心の準備ができたように思います。また、家族と話し合っ、家族の連絡先や集合場所などを書いた「連絡カード」をつくりました。家族全員が毎日持ち歩いて、災害に備えようと思います。





福井市社北小学校 6年  
笈田 千歳さん

講評 (審査委員)

身近に起こった火事をきっかけとして作成した防災マップとなっています。消防署の人に話を聞いたり、地元をよく歩いて調べたりした上で、自分の家の防災対策を立てているところが素晴らしいです。地図も分かりやすく、全体のレイアウトもよくできています。



福井市社西小学校 6年  
野村 星菜さん

講評 (審査委員)

大人でも難しい避難場所と避難所の区別を調べ、家族の約束事にもその知識がいかされている点がよいと思います。また、市の防災用標示板の地図をもとに防災マップを作成したことで、非難時の注意点を上手に整理できたのもよい工夫です。



福井市豊小学校 5年  
平木 里奈さん

講評 (審査委員)

ゲリラ豪雨など最近の気象の特徴を調べ、よくまとめた上で、地元の防災対策や避難所などを調べ、自分の家の防災マップとしてとりまとめています。パソコンを上手に利用し、色使いも大変きれいな仕上がりとなっています。



坂井市春江小学校 5年  
島崎 玲奈さん

講評 (審査委員)

防災マップの作成を通じて、過去の災害や、日ごろの備え、避難の手順などを幅広く知ることができたのはよいと思います。また、実際に避難訓練に参加して地域での協力の大切さを確認できたのもよい経験になったことでしょう。







坂井市春江小学校 5年  
坪田 悠士さん

講評 (審査委員)

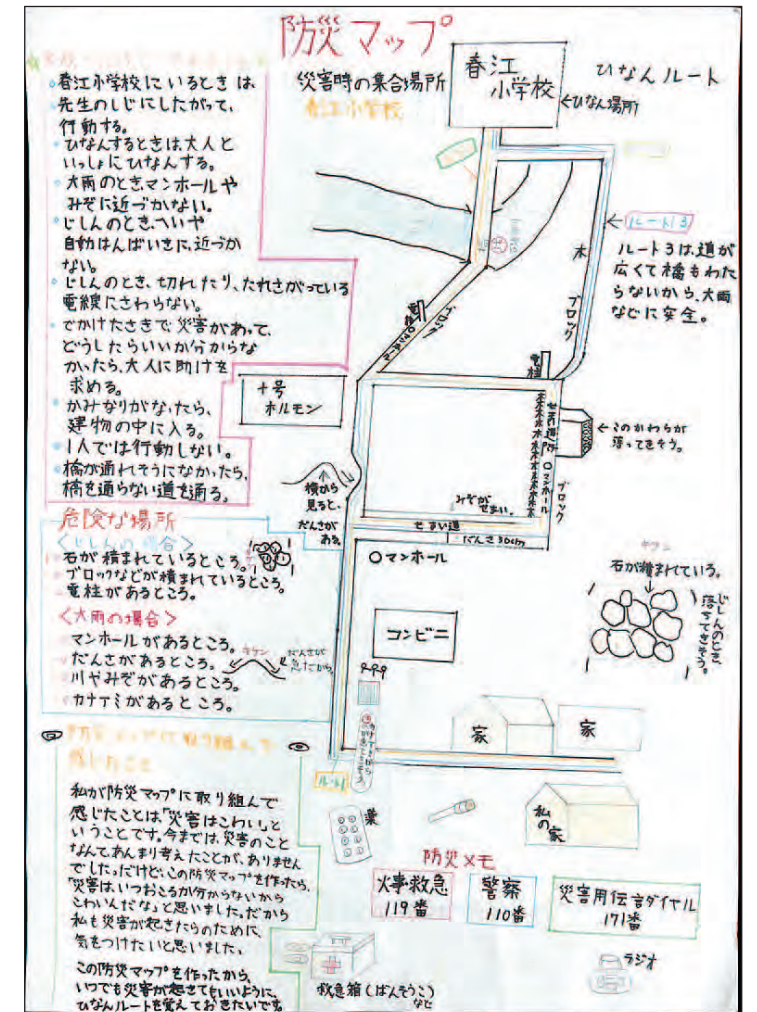
自分の住んでいる福井での大震災を調べることで、あらためて災害は身近に起きることやその怖さを確認し、普段からの備えについて多くの視点からまとめられています。新聞スリッパはおもしろく、全体を新聞形式でまとめたアイデアも良いと思います。



坂井市春江小学校 5年  
加納 朋夏さん

講評 (審査委員)

地震発生時と大雨で被害が発生した場合の避難ルートを色分けし、それぞれの対応がわかりやすくとめられています。避難中の危険予知を細かく調べるなど、家族で実際に現場へ行き、よく話をされている様子が伝わってくる作品です。



坂井市春江小学校 5年  
鈴木 琉威斗さん

講評 (審査委員)

防災マップを作るために避難場所へ行って、どんな物が備蓄されているのかを確認するなど自分の目で確認し上手に整理できています。消防署の人や避難場所の学校の教頭先生へのインタビューなど、関係する人たちからの話もしっかり聞いています。



坂井市春江小学校 5年  
三寺 柚月さん

講評 (審査委員)

実際に家から避難場所まで歩いたことは大変良い経験になったと思います。避難経路のどこにどんな危険が潜んでいるかがよく考察されています。また、避難場所を2通り考えるなど家族で話し合った結果も、分かりやすく上手にまとめられています。







小浜市国富小学校 5年  
垣東 嵩之さん

講評 (審査委員)  
自宅周辺で調べた危険箇所を、写真と☆印で上手にまとめてあります。避難する際の家族との約束事も書かれていて、万が一のときにも安心です。今年8月の台風5号で学んだ体験を、今後の防災に生かしてほしいと思います。



福井市社北小 6年  
内田 佑奈さん



福井市社北小学校 6年  
開発 資さん



福井市社北小 6年  
中山 翔太さん

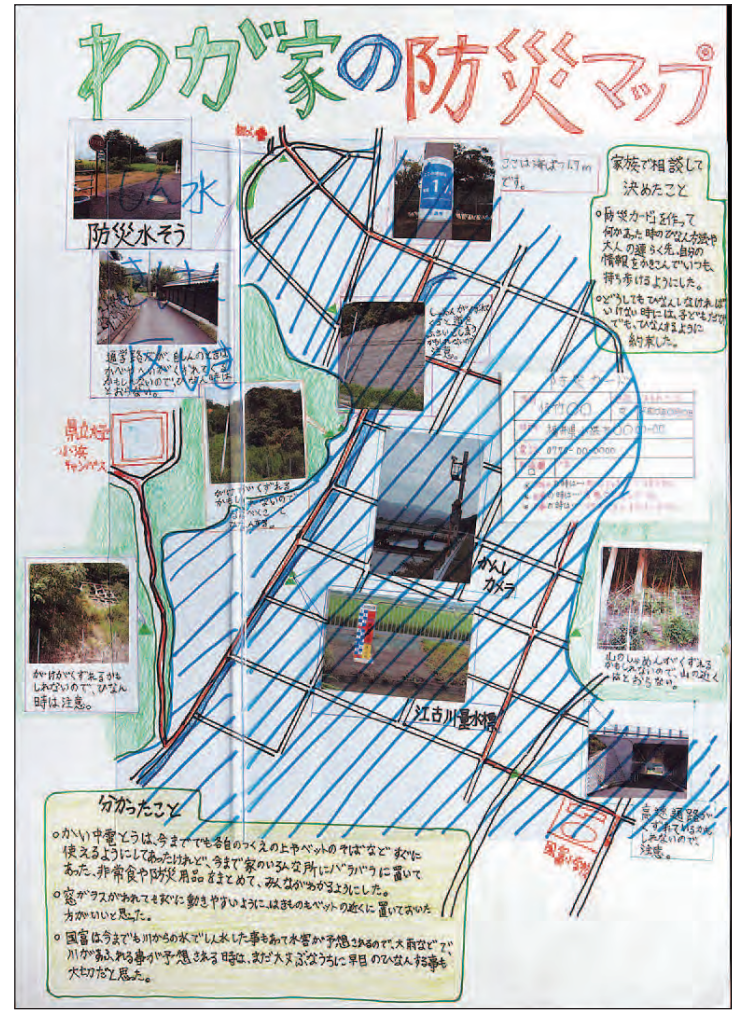


福井市社北小学校 5年  
吉岡 乙葉さん



小浜市国富小学校 5年  
佐竹 優佳さん

講評 (審査委員)  
地図上に透明のフィルムを重ね「浸水危険区域」を表現したり、手作りの防災カードを持参するアイデアなど、防災マップ作りへの工夫がみられる作品です。避難時の経路を分かりやすく示し、その際の注意点も上手にまとめてあります。



福井市森田小学校 6年  
山下 樹さん



福井市旭小学校 6年  
神原 凜さん



鯖江市片上小学校 5年  
福島 瑤周さん



鯖江市片上小学校 5年  
直井 陽莉さん







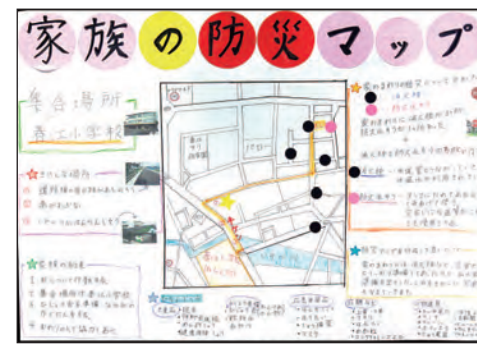
鯖江市片上小学校 4年  
福田 しず来さん



坂井市春江小学校 5年  
吉田 光輝さん



坂井市春江小学校 5年  
出店 愛琉さん



坂井市木部小学校 5年  
山畑 秀介さん



坂井市春江小学校 5年  
南部 茉央さん



坂井市春江小学校 5年  
久保 奈那英さん



小浜市国富小学校 5年  
出口 颯希さん



若狭町三方小学校 6年  
三宅 佑奈さん



坂井市春江小学校 5年  
濱野 嘉南さん



坂井市春江小学校 5年  
山田 心音さん



坂井市春江小学校 5年  
嶋田 朔弥さん



坂井市春江小学校 5年  
五十嵐 愛莉さん



## 防災出前授業やっています！

全国各地で大きな自然災害が起きている中、災害の怖さを知り、十分な備えをすることはとても重要です。ふくいの水防災を考える会は、さまざまな災害にどう備えるべきか、分かりやすくまとめた防災補助教材「災害から命を守る みんなに知ってほしいこと」を作りました。

また、福井県では小学校へ出向いての防災出前授業を行っていますので、ご希望があれば福井県砂防防災課までご連絡ください。

福井県砂防防災課 ☎0776-20-0494

主催／ふくいの水防災を考える会  
(国土交通省近畿地方整備局、福井地方気象台、福井県、福井市、鯖江市、あわら市、小浜市、坂井市、若狭町、池田町)  
福井新聞社 NHK福井放送局

後援／福井県教育委員会

平成 29 年 12 月 発行